

# 始良・伊佐地域 感染症情報

## 2019年第32週報 (8月5日~8月11日)

発行：始良・伊佐地域振興局保健福祉環境部 発行日：令和元年8月15日

【お問合せ先】鹿児島県始良保健所 TEL (0995) 44-7956 / FAX (0995) 44-7969

感染症情報は、始良・伊佐地域振興局ホームページに掲載しています！

**大口保健所管内で「ヘルパンギーナ」、始良保健所管内で「咽頭結膜熱」と「RSウイルス感染症」の定点当たり報告数が多くなっています！**

★ 全数把握疾患の報告数 ※ [ ] 内は本年累積患者報告数

種別	大口保健所管内	始良保健所管内	鹿児島県(速報値) ※修正される可能性があります。
一類感染症			
二類感染症	結核(無症状病原体保有者) 5 [13]	結核(肺結核) 1 [11]	結核12 [231]
三類感染症			
四類感染症			レジオネラ症2 [12]
五類感染症			梅毒3 [36], 百日咳5 [601]

### ○ 結核



大口保健所管内及び始良保健所管内で、結核の届出が続いています。結核は、咳やくしゃみで空気感染する病気です。「咳が2週間以上続く。痰が出る(痰に血が混ざる)。身体がだるい。微熱が続く。急に体重が減る」等の症状が長引く場合は、「結核」も疑い、マスク着用の上、医療機関を受診しましょう。抵抗力の弱い乳幼児が感染すると重症化しやすいため、市町からの案内に従ってBCGの定期予防接種を受けましょう。

★ 定点把握疾患の報告数

\*お盆の休診により未報告の医療機関があるため、県全体のデータは後日修正される模様です。

定点報告疾患	警報基準値			大口保健所管内				始良保健所管内				県全体		
	開始基準値	終息基準値	注意報基準値	1週前	今週			1週前	今週			今週		
				定点当たり報告数	報告数(人)	定点当たり報告数	前週からの増減	定点当たり報告数	報告数(人)	定点当たり報告数	前週からの増減	報告数(人)	定点当たり報告数	前週からの増減
インフルエンザ	30.00	10.00	10.00	0.00	0	0.00	→	0.27	2	0.18	↓	9	0.10	↓
RSウイルス感染症	-	-	-	2.00	0	0.00	↓	2.57	29	4.14	↗	164	3.15	↗
咽頭結膜熱	3.00	1.00	-	0.00	0	0.00	→	3.71	15	2.14	↓	48	0.92	↓
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8.00	4.00	-	4.00	0	0.00	↓	1.14	5	0.71	↓	42	0.81	↓
感染性胃腸炎	20.00	12.00	-	0.00	2	2.00	↗	5.14	32	4.57	↓	254	4.88	↗
水痘	2.00	1.00	1.00	0.00	0	0.00	→	0.00	0	0.00	→	10	0.19	↓
手足口病	5.00	2.00	-	0.00	1	1.00	↗	0.57	12	1.71	↗	81	1.56	↓
伝染性紅斑	2.00	1.00	-	0.00	0	0.00	→	0.43	0	0.00	↓	31	0.60	↓
突発性発しん	-	-	-	0.00	0	0.00	→	0.71	4	0.57	↓	28	0.54	↓
ヘルパンギーナ	6.00	2.00	-	0.00	2	2.00	↗	3.29	7	1.00	↓	48	0.92	↓
流行性耳下腺炎	6.00	2.00	3.00	0.00	0	0.00	→	0.00	0	0.00	→	3	0.06	↗
急性出血性結膜炎	1.00	0.10	-	/	/	/	/	0.00	0	0.00	→	1	0.14	→
流行性角結膜炎	8.00	4.00	-	/	/	/	/	4.00	2	2.00	↓	17	2.43	↓
細菌性髄膜炎	-	-	-	0.00	0	0.00	→	0.00	0	0.00	→	0	0.00	→
無菌性髄膜炎	-	-	-	0.00	0	0.00	→	0.00	0	0.00	→	0	0.00	→
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	0.00	0	0.00	→	0.00	0	0.00	→	0	0.00	↓
クラミジア肺炎	-	-	-	0.00	0	0.00	→	0.00	0	0.00	→	0	0.00	→
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	-	0.00	0	0.00	→	0.00	0	0.00	→	0	0.00	↓
インフルエンザ入院患者(人)	-	-	-	0	0	/	→	0	0	/	→	集計中	/	→

※ 警報・注意報の「-」は対象としないことを意味します。

※ 警報・・・赤字の太枠部分, 注意報・・・斜体文字で黄色の網掛け部分

## ☆今週の主な感染症の動向

始良保健所管内が、第23週から流行発生警報レベルです！

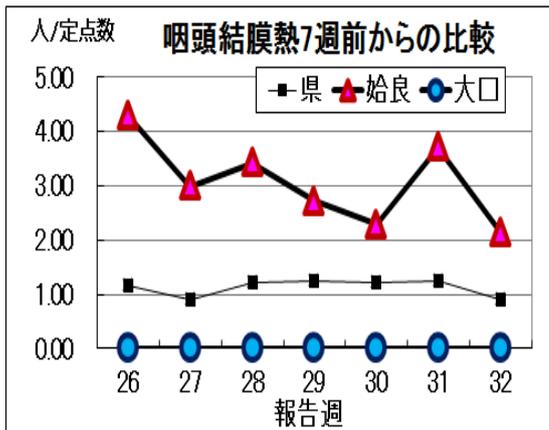
### ○咽頭結膜熱

今週、大口保健所管内における咽頭結膜熱の患者報告はありません。

始良保健所管内の患者報告数は、前週より11人少ない15人（定点当たり2.14人）に減少したものの、10週連続で流行発生警報基準値\*を超えています。患者の年齢は、9割が5歳以下です。

県全体では、前週より19人少ない48人（定点当たり0.92人）に減少しています。感染予防策は、流水と液体石鹸による手洗い、器具については、煮沸、次亜塩素酸ナトリウムによる消毒が必要です。

※ 咽頭結膜熱の流行発生警報基準値：開始基準値定点当たり3.00人、終息基準値1.00人

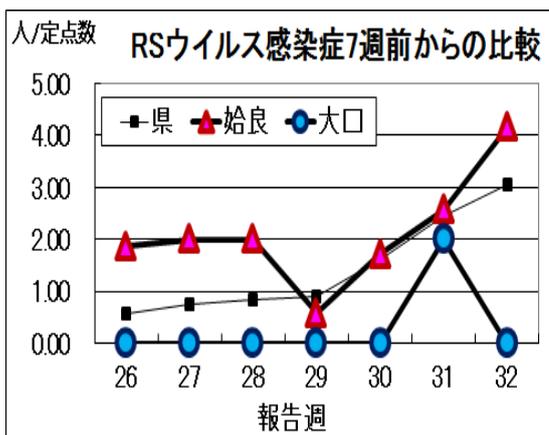


### ○RSウイルス感染症

今週、大口保健所管内におけるRSウイルス感染症の患者報告はありません。

始良保健所管内の患者報告数は、前週より11人多い29人（定点当たり4.14人）で、3週連続で増加しており、過去3年間の同時期で最多となっています。県全体では、前週より31人多い164人（定点当たり3.15人）で、10週連続で増加しています。患者の年齢は、4歳以下で、1歳（定点当たり1.25人）が多い状況です。

乳幼児や高齢者等の集団生活施設では、飛沫感染対策として、マスクの着用等、咳エチケットに努め、接触感染対策として、手洗い又は速乾性擦式アルコール製剤により手指衛生を励行する等、施設全体で取り組む必要があります。



### ○ヘルパンギーナ

今週、大口保健所管内におけるヘルパンギーナの患者報告数は2人（定点当たり2.00人）に増加しました。患者の年齢は、1歳及び2歳です。

始良保健所管内の患者報告数は、前週より16人少ない7人（定点当たり1.00人）に減少しています。県全体では、48人（定点当たり0.92人）と前週より半減しました。

ヘルパンギーナの原因ウイルス（コクサッキーウイルスA群等）は、症状回復後も長期にわたり便中に排泄されることから、感染予防・感染拡大防止のため、排泄物を適正に処理すること、タオルの共用を避けること、用便後やトイレ介助・排泄物処理後に、液体石けんを泡立てての手洗いを徹底することが重要です。

